

令和元年度 各地域包括支援センターの事業報告

令和元年度 [あさくさ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

① 介護予防ケアマネジメント業務	総合事業を利用し、状態が改善するケースを増やすことが課題である。
② 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	見守り対象者の見守りを強化し、状態の悪化を予防し、入院してしまう方を減らしていくことが課題である。
③ 認知症総合支援事業	認知症についての講座等を開催し、普及啓発活動を行っていくことが課題である。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	高齢者の自立や意欲を引き出す	計画	—
		報告	—
②	夏季の熱中症予防を中心に見守りを強化する	計画	訪問300戸(延べ)
		報告	訪問375戸(延べ)
③	地域での認知症についての普及啓発の実施	計画	2回 30人(延べ)
		報告	7回 60人(延べ)

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

30年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	元年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40	○			○	○		7.2	○	○	1	常	40	○				○	○		8.2	○	○	
2	常	40	○			○	○		1	○	○	2	常	40	○			○	○	○		2	○	○	
3	常	40	○				○		3	○	○	3	常	40	○				○	○		4	○	○	
4	常	40		○	○	○			1	○	○	4	常	40		○	○	○				2	○	○	
5	常	40	○			○	○	○	11	○	○	5	常	40	○			○	○	○		12	○	○	
6	常	40	○						0	○	○	6	常	40		○	○					3.3	○	○	
7	非	32				○	○		1		○	7	非	32				○	○			2		○	
8												8	非	28						○		0.9		○	
9												9													
10												10													

その他の資格・・・

その他の資格・・・柔道整復師

令和元年度 [やなか] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

① 地域ケア会議推進業務	多職種で、個別課題や地域課題を検討する機会を増やしていくことが課題である。
② 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	夏季・冬季に体調が悪化する高齢者が増加する傾向があるため、重症化を防止することが課題である。
③ 権利擁護事業	悪質商法、詐欺の被害に遭う高齢者を減らしていくことが課題である。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	地域ケア会議の内容の充実	計画	6回
		報告	7回
②	民生委員との連携強化	計画	年2回
		報告	年2回
③	悪質商法・詐欺の予防の啓発と安心して暮らせるまちづくり	計画	4回
		報告	4回

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

30年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	30年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2				
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士	その他		
1	常	40				○	○				12	○	○	1	常	40				○	○				13	○	○		
2	常	40					○	○			1	○	○	2	常	40					○	○				2	○	○	
3	常	40	○						○		4	○	○	3	常	40	○					○	○				5	○	○
4	常	40		○	○				○	○	3	○	○	4	常	40		○	○			○	○				4	○	○
5	非	32							○	○	2	○	○	5	非	32						○	○				3	○	○
6														6															
7														7															
8														8															
9														9															
10														10															

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表

エリア内の高齢者人口： 4,142人 (平成31年1月1日時点)

やなか 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
地域ケア個別会議	「地域ケア個別会議」「見守りネットワーク地区連絡会における事例検討」・「介護予防・自立支援に向けた地域ケア個別会議」の実施。(個別3回・見守り地区連絡会事例検討方式1回・自立支援型2回)	3回	個別準備・開催	①		②							③			
主催	個別会議では、天家からの相談による認知症や体調不良の独居高齢者への支援について、地域からの相談による徘徊や金銭管理が心配な方への支援について検討した。自立支援に向けた会議では、本人参加型で多職種からの助言を受け、生活課題や目標について検討し、定期的にモニタリングを行った。(個別5回・見守り地区連絡会事例検討方式1回・自立支援型1回)	5回	個別モニタリング・評価	①	②	③	④	⑤			①	②			③	
見守りネットワーク地区連絡会	関係機関との情報交換方式で1回、11月は事例検討やグループワーク方式で、地域課題に関する意見交換方式で開催予定。	2回	準備・開催	①					②				②			
主催	4月に関係機関との情報交換方式で開催、11月に谷中地区で大雨による避難勧告が出されたことを受け、緊急避難発令時の対応について事例検討・グループワークを行った。	2回	準備・開催	①					②				②			
広報誌の発行ホームページの活用	広報誌を毎月発行し、熱中症やインフルエンザ、詐欺に関する情報等各月のテーマに応じて啓発し、回覧等で配布。ホームページを活用し、情報発信を行う。	12回	広報紙の発行・配付	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
主催	熱中症やインフルエンザの啓発など季節に合わせた注意喚起、認知症カフェ、ふれあい介護予防教室の周知、また地域で発生した消費者被害等の情報を警察やくらしの相談課と共有して掲載した。	12回	広報紙の発行・配付	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
地域交流	夏祭り・菊祭りの参加により、地域住民との交流の機会を作る。	2回					夏祭り			菊祭り						
参加	夏祭り・菊祭りの参加により、地域住民や地域の高齢者と祭の場を通じて交流を行った。	2回					夏祭り			菊祭り						

<ケアマネジャー支援>

エリア内の居宅介護支援事業所数： 3

介護支援専門員数 8名 (平成31年1月1日現在)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ケアマネジャーの集い	・7包括共催テーマで2回(7月・1月) ・やなか包括主催で事例検討会2回、講義形式で2回開催予定。	6回	共催	①									②			
主催・共催	・7包括共催では医療相談員、退院調整NS、短期入所相談員とケアマネジャーの交流会を開催した。 ・単独開催では、「依存症高齢者の支援について」の勉強会、「高次脳機能障害の高齢者の支援について」の事例検討会を開催した。	4回 191名	主催	①	②	③	④						②			

<認知症地域支援推進事業>

やなか 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
認知症カフェ(カフェやなか)	土田病院(精神科)と協働し、認知症の方ご本人の居場所、そのご家族の介護負担軽減、地域住民が認知症について正しい知識を得られる場として、地域に根差したカフェを開催する。	6回 120人	①	②	③	④	⑤	⑥								
共催	土田病院と共催で、本人・家族・地域住民・医療福祉関係者それぞれが、有意義な時間を過ごせるよう参加者からの意見を積極的に取り入れ、服薬や権利擁護に関する講座、アクティビティや演奏会などのプログラムを実施した。	6回 141人	①	②	③	④	⑤	⑥								
認知症サポーター養成講座等の普及啓発活動	町会や老人クラブ、企業等へ、認知症サポーター養成講座をはじめとする認知症に関する講座開催の働きかけを行い、依頼については随時調整して開催する。	4回														
主催・共催	金融機関職員や学生を対象に講座を実施。また担当地域にある更生施設の職員と共同で、更生施設入所者・職員に向けた講座を開催した。	6回	①	②	③	④	⑤	⑥								
認知症初期集中支援推進事業	対象者の把握から初期集中支援の実施を通し、各機関と連携しながらスムーズに適切な支援に繋げる。	1ケース以上						①								
実施	医療・介護サービスに結び付けることが困難であった対象者をチームで連携し支援に繋げることが出来た。	1ケース						①								
認知症高齢者早期発見・実態把握	池之端地区の高層マンションなど、セキュリティが厳しい住宅の管理人や管理業者へ働きかけを行い、実態把握・早期対応を行う。	適宜														
主催	特に高層マンションの多い池之端地区の老人会や民生委員へ働きかけ、定期的に情報を共有し、実態把握を行った。またマンションの管理人や銀行、郵便局に向けて包括支援センターや推進員の役割について周知活動を行った。	適宜														

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
つながり会議	荷物やゴミの溜め込みにより、地域住民が苦慮している事例について社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと連携し課題の共有を行った。	5回				①	②	③	④	⑤						

令和 元 年度 [みのわ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

① 総合相談支援業務	複数の課題を抱える世帯への支援や、多職種との連携を強化することが課題である。
② 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	高齢者の見守りのため、民生委員や関係機関との地域課題を共有し、地域課題に対する取り組みを行うことが課題である。
③ 総合相談支援業務	高齢者の実態把握と早期対応が課題である。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数 値	目標に向けた具体的な取組
①	多問題の相談支援の充実	計画	①センター内の情報共有とセンターの方針決定を行う。 ②多職種連携を行い、本人と家族への支援を行う。
		報告	新規 271人 毎朝のミーティングで情報共有を行い、ケースの対応方法や支援内容を検討した。経済的困窮・精神疾患・認知症等、家族も課題を抱えているケースについて、医療関係者や警察等の他機関と連携し支援を行った。
②	高齢者が安心して生活できるネットワークを作る	計画	民生委員・地域の関係機関と地域ごとにチームを作り、地域課題の共有と取り組みを行う。
		報告	108人 見守りネットワーク地区連絡会にて、大型台風発生時の水害について情報を共有し、地域ごとに民生委員やケアマネージャー等の他機関がチームになり、地域の課題を確認した。
③	相談に繋がっていないケースの把握と早期対応を行う	計画	80歳以上独居高齢者世帯の実態把握と熱中症予防注意喚起活動を行い、支援が必要な方へ適切な支援を行う。
		報告	200人 全地域の80歳以上の独居高齢者世帯を個別訪問し、地域包括支援センターの普及啓発と熱中症予防注意喚起や実態把握に努めた。その結果、病院受診や介護保険の申請等、必要な支援に繋げることができた。

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

30年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	元年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2					
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士	その他			
1	常	40	○			○	○			○	○	7	○	○	1	常	40	○				○	○			○	○	8	○	○
2	常	40	○			○	○			○	○	6	○	○	2	常	40	○				○	○			○	○	7	○	○
3	常	40			○							2	○	○	3	常	40									○	○	1	○	○
4	常	40	○									2	○	○	4	常	40				○							3	○	○
5	非	32				○						1	○	○	5	常	40	○										3	○	○
6	非	32	○										○	○	6	非	32									○		2	○	○
7	非	24			○							9	○	○	7	非	32	○										1	○	○
8	非	19					○			○		1		○	8	非	24				○							10	○	○
9															9	非	19									○	○	2		○
10															10															

その他の資格・・・

その他の資格・・・

令和 元 年度 [くらまえ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 東京援護協会 】

◇今年度の重点課題

① 総合相談支援業務	地域との関りを持ちたがらない高齢者に対しての、見守り方法や実態把握が課題である。
② 認知症総合支援事業	認知症が悪化する前からの相談を増やし、問題が複雑化する前からの対応を増やしていくことが課題である。
③ 権利擁護事業	権利擁護に関するケースを包括内で検討し、支援方法や知識を深めていくことが課題である。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	見守り対象者の実態把握と見守り訪問を計画的に実施し、民生委員や関係機関との連携も強化していく	計画 400人	熱中症の時期は見守り訪問を強化し注意喚起をする。他、見守り対象者には計画を立て訪問。年間で延べ400人の訪問を目指し、地域の実態把握を行っていく。
		報告 407人	区から提供されたグッズを活用し、見守り訪問を強化。ケースの状態に応じて、間隔を短く訪問したり、電話を活用したり、計画的に見守りを実施した。
②	認知症高齢者の早期発見と地域への普及啓発	計画 15ヶ所	シルバーピアや高齢者の多いマンションを回り、認知症理解に関する情報を発信。町会や地域にも働きかけ、認知症カフェや出前講座を行い、地域の普及啓発に力を入れ早期発見につなげる。
		報告 8ヶ所	計画数には至らなかったが、シニアクラブや銀行、地域からの依頼を受け、認知症に関する講座を実施した。また、認知症カフェは毎回楽しみに参加される方も多く定着している。
③	高齢者の権利擁護のため、支援方法や知識を深めていく事例検討や勉強会を行う	計画 4回	権利擁護に関する研修に積極的に参加する。また、3職種を中心に様々な専門的視点から、権利擁護に関する事例検討や勉強会を包括内で行い、質の向上を目指す。
		報告 3回	職員の質の向上を目的として、内部会議等を利用して勉強会を実施。研修にも積極的に参加した。引き続き、支援方法を学び質の向上を目指していく。

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

30年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	元年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40	○	○	○	○	○	○	12	○	○	1	常	40	○	○	○	○	○	○	13	○	○		
2	常	40	○	○	○	○	○	○	7	○	○	2	常	40	○	○	○	○	○	○	8	○	○		
3	常	40	○	○	○	○	○	○	3	○	○	3	常	40	○	○	○	○	○	○	4	○	○		
4	常	40	○	○	○	○	○	○	2	○	○	4	常	40	○	○	○	○	○	○	3	○	○		
5	常	40	○	○	○	○	○	○	3	○	○	5	常	40	○	○	○	○	○	○	4	○	○		
6	常	40	○	○	○	○	○	○	2	○	○	6	常	40	○	○	○	○	○	○	3	○	○		
7	非	19	○	○	○	○	○	○	7	○	○	7	非	19	○	○	○	○	○	○	8	○	○		
8												8													
9												9													
10												10													

令和 元 年度 [まつがや] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 東京援護協会 】

◇今年度の重点課題

① 総合相談支援業務	介護予防や介護の問題が、複雑化する前から相談が入るようにすることが課題である。
② 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	新しい住民に対し、地域のつながりを作り、情報を提供していくことが課題である。
③ 介護予防ケアマネジメント業務	地域包括支援センター内でケアプランを検討する機会を作り、自立支援をめざしたケアマネジメントを行っていくことが課題である。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	元気なうちから地域包括支援センターを身近に感じる人を増やす	計画	11回
		報告	9回
②	包括支援センターの周知と実態把握	計画	マンション20棟
		報告	マンション22棟
③	より多様な視点で自立支援をめざしたケアマネジメントを確立する	計画	8回
		報告	8回

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

30年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	元年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	都 営							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2				
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士	その他		
1	常	40	○			○	○			○		6	○	○	1	常	40	○			○	○			○		7	○	○
2	常	40	○		○		○					10	○	○	2	常	40	○		○		○				11	○	○	
3	常	40		○	○				○			12	○	○	3	常	40		○	○				○		13	○	○	
4	常	35	○				○					12	○	○	4	常	40	○				○				4	○	○	
5	常	40	○				○					3	○	○	5	常	育休	○				○				13	○	○	
6	非	32	○				○		○			12	○	○	6	常	40					○		○		13	○	○	
7	非	40					○		○			6	○	○	7	非	40					○				7	○	○	
8	非	40					○		○	○		9	○	○	8	非	8	○								1	○	○	

その他の資格・・・ No.3 助産婦 No.6 歯科衛生士 No.8 幼稚園教諭

その他の資格・・・ No.3 助産婦 No.6 幼稚園教諭

令和 元 年度 [たいとう] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 聖風会 】

◇今年度の重点課題

① 包括的・継続的 ケアマネジメント支援業務	ケアマネジメントに資する地域の社会資源の把握・活用できる体制・ネットワークづくりを行っていくことが課題である。
② 認知症総合支援事業	認知症の方やそのご家族、認知症（予防）に関心のある地域住民の方々が気軽に立ち寄り交流できる機会を作っていくことが課題である。
③ 一般介護予防事業 に関する業務	介護予防の意識を高める活動の場を増やすことが課題である。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数 値	目標に向けた具体的な取組
①	地域の多様な社会資源の把握と整理を行う	計 画	－
		報 告	－
②	カフェたいとんの定期開催	計 画	6回／年
		報 告	6回／年
③	介護予防の意識へ働きかける活動の場を立ち上げる	計 画	1か所
		報 告	－

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

30年度 No.	常勤（常）・非常勤（非）	週の勤務時間（残業除く）	資格（持っているもの全てに○）							包括実務経験年数（年）	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	30年度 No.	常勤（常）・非常勤（非）	週の勤務時間（残業除く）	資格（持っているもの全てに○）							包括実務経験年数（年）	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士
1	常	40		○		○				12	○	○	1	常	40			○		○				13	○	○
2	常	40	○			○				10	○	○	2	常	40	○				○				11	○	○
3	常	40	○			○		○	○	7	○	○	3	常	40	○			○		○	○		8	○	○
4	常	40	○				○	○	○	4	○	○	4	常	40	○				○	○	○		5	○	○
5	常	40		○						11	○	○	5	常	40				○					12	○	○
6	常	40	○				○	○	○	2	○	○	6	常	40	○				○	○	○		3	○	○
7	非						○			6		○	7	非						○				7		○
8													8													
9													9													
10													10													

その他の資格・・・

その他の資格・・・

令和 元 年度 [ほうらい] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 清峰会 】

◇今年度の重点課題

① 介護予防 ケアマネジメント業務	総合事業の通所Cの利用人数を増やすことが課題である。
② 一般介護予防事業 に関する業務	「通いの場」づくりに力を入れていくことが課題である。
③	

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	通所Cの利用者を増やす	計画 20人	安易に通所型サービスを進めず、通所Cの利用を促す。
		報告 19人	目標にはわずかに足らなかったが、近くの転倒予防教室を中心に、通所Cのサービスにつなげられた。
②	自主グループの立ち上げ	計画 1 場所	ほうらいで行っているセラバンド体操を自主グループに移行する。
		報告 -	セラバンド体操を自主グループ化に向けて継続中。自主的に取り組めるように働きかけた結果、参加者同士で会場設営やお茶出しを行うようになった。
③		計画	
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

30年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	元年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士
1	常	40			○					6	○	○	1	常	40	○			○					7	○	○
2	常	40	○				○	○	○	5	○	○	2	常	40	○			○		○	○		6	○	○
3	常	40			○					5	○	○	3	常	40			○					6	○	○	
4	常	40			○					1	○	○	4	常	40	○					○		1	○	○	
5	常	40	○				○		○	0	○	○	5	常	40		○	○		○			1	○	○	
6	常	40	○						○	0	○	○	6													
7													7													
8													8													
9													9													
10													10													

◇年間計画表

エリア内の高齢者人口： 6,178人 (平成31年1月1日時点) ほうらい 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア個別会議	計画	2回	←①									→②		
	主催	2回	準備・開催			①						②		
見守りネットワーク地区連絡会	計画	2回 50人	←①			準備・開催						→②		
	主催	2回 111人	①			準備・開催						②		
出張相談出前講座	計画	6回	←①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫											
	共催	(橋場)10回 232人 (出張)5回 63人	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫											
セラバンド教室	計画	12回 120人	←①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫											
	主催	1回 166人	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫											

＜ケアマネジャー支援＞

エリア内の居宅介護支援事業所数： 3 介護支援専門員数 6名 (平成31年1月1日現在)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケアマネジャーの集い	計画	4回	←①			※年2回は7包括合同						→②		
	主催・共催	4回	①			ほうらい						④ 包括合同		
地域連携を進める会	計画	3回	←①			②						→③		
	共催	2回	①			②						③		

＜認知症地域支援推進事業＞

ほうらい 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症カフェ(あきがおカフェ)	計画	6回	←①			←②			←③			←④		
	共催	5回	①			②			③			④		
認知症サポーター養成講座等の普及啓発活動	計画	4回	不定期開催											
	主催・共催	5回	①			②			③			④		
認知症初期集中支援推進事業	計画	1ケース以上	①											
	実施	1件	①											

＜計画外の取組＞

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
報告														
報告														